

日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報告者	下島 七海	市確認欄	
専門部会名	第 1 回	子ども部会	
日時	令和 6 年 4 月 17 日（水）10 時 00 分～12 時 00 分		
会場	障害者福祉センター 大会議室		
出席者	部会員 9 名	市職員 2 名	事務局 6 名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍聴者	有り（ 名：別添名簿のとおり） ・ なし		
報告・検討 の内容	※自己紹介、部会長、副部会長の選出		
	① 振り返り		
	② 就学説明動画について		
	③ 不登校の支援について		
	④ 特別支援教育コーディネーター研修について		
	⑤ その他		
主な意見	部会長、副部会長の選出。 【新】 岡田 美穂 部会長 （じゃんぐるじむ） 阿尾 匡晃 副部会長 （中日青葉学園） ① 振り返り ・週末の過ごし方の支援について ・不登校の支援について ・就学説明動画について ② 就学説明動画について 4 月 10 日(水)に対象児に案内を発送し、4 月 17 日(水)から動画が見れるようになる。問い合わせもきている。今年度より視聴期間を延長している。 相談員としても就学説明動画があることで年長の途中からサービス		

の利用を始めた方にも周知しやすい。

学校教育課としてもクラスの選択だけでなく、学校の場合に慣れるという意味合いでも学校見学を勧めてほしい。実際に相談や見学をすること自体に抵抗があり行かない方やクラスの変更がギリギリになってしまった方もいた。

放課後等デイサービスにもすでに令和 7 年度入学の方からの問い合わせも来ており、意識は高まっている。

以前は対面で説明会を行っていたが、説明会后に保護者からの個別の質問で列が絶えず、対応が大変だったと聞いている。共働き等で説明会の日に会場に行くことが難しい方もいるので、今後もこの形で行っていくことを確認する。

③ 不登校支援について

資料を基に内容について検討した。

資料 2 と資料 3 において内容が関連しているなら、双方に名前がある形を作るべきである。特別支援学校はマップのどこに配置するのか。

子ども課については、就学前の繋がりやきょうだいケースや保護者の見守りにおいても関係機関の中に入れるべきである。配置としては行政になるので子育て支援課の近くがいいのではないかな。

枠外に配置されている機関(相山女学園大学や病院)について、点線や矢印等で繋がりが分かる形にできたらいいのではないかな。

通級、統括スクールソーシャルワーカーの支援内容については学校教育課で考えていただく。

まずは支援者同士で連携をとるために作成し、今後保護者向けについて考えていけるとよい。

→検討内容を踏まえ、修正し次回再度検討する。

④ 特別支援教育コーディネーター研修について

・日程

9 月 3 日(火)、4 日(水)、6 日(金)のいずれか。午後の時間の予定。

→調整し最終決定する。

・内容

放課後等デイサービスを利用しているお子さんで不登校になっているケースをあげ、多職種で構成されたグループで模擬ケース会議を行い、話しあってはどうか？と考えている。

・参加者

特別支援教育コーディネーター、スクールソーシャルワーカー、放課後等デイサービスの指導員、子ども部会員、相談員、校内ハートフレンドの指導員(声をかける予定)

・その他

今年度の特別支援教育コーディネーターは 3 分の 1 が入れ替わり、初めての方も多い。

放課後等デイサービスとしても、研修の時間が送迎の時間と被ると難しいが、指導員をできるだけ多く出席させたい気持ちはある。部会員の方にも協力いただき、実施していく。

	⑤ その他 今後の子ども部会の日程について確認。 愛知淑徳大学 CCC 秋田さんに次回の子ども部会に参加いただけるように打診中。年度が変わりボランティアグループでイベントの企画をしていくのが 6～7 月頃からと聞いている。次回、今後のことについて具体的に決める場を設けていきたい。CCC として何ができるのか、得意な分野等について聞き取り、学生が無理のない範囲で今年度中にイベント等を 1 度開催できるといいのではないかな。
今回確認事項	① 振り返り
	② 就学説明動画について
	③ 不登校支援について
	④ 特別支援教育コーディネーター研修について
	⑤ その他

日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第 1 回	子ども部会
日 時	令和 6 年 4 月 17 日（水）10 時 00 分～12 時 00 分	
会 場	障害者福祉センター 大会議室	

専門部会員	その他参加者
① 山田 裕子	① 徳岡 まり子
② 山本 哲也	② 櫻井 かおり
③ 岡田 美穂	③ 大藪 帆乃香
④ 澤田 勢津子	
⑤ 大石 葉子	
⑥ 阿尾 匡晃	
⑦ 丸山 美希	
⑧ 内田 紀子（欠席）	
⑨ 藤森 祐紀	
⑩ 近藤 文子	

（市職員）

① 新井 麻佐代	② 青山 亜沙美
----------	----------

（事務局）

① 武田 裕子	② 宇佐美 香津美
③ 日岡 由季枝	④ 白井 暢子
⑤ 西澤 伸太郎	⑥ 下島 七海

日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報 告 者	下島 七海	市確認欄	
専門部会名	第 2 回	子ども部会	
日 時	令和 6 年 6 月 19 日（水）10 時 00 分～12 時 00 分		
会 場	障害者福祉センター 大会議室		
出 席 者	部会員 9 名	市職員 2 名	事務局 6 名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍 聴 者	有り（ 名：別添名簿のとおり） ・ なし		
報告・検討 の内容	① 振り返り		
	② 週末の過ごし方について		
	③ 特別支援教育コーディネーター研修について		
	④ 不登校の支援について		
	⑤ その他		
主な意見	① 振り返り ・ 就学説明動画について ・ 不登校の支援について ・ 特別支援教育コーディネーター研修について ② 週末の過ごし方について 7 月の子ども部会に愛知淑徳大学 CCC の秋田さんと学生が参加予定。 2 月 8 日(土)にスポーツセンターの第 2 競技場を予約しており、そこを利用して何かイベントができないかと考えている。 障害者等レクリエーション文化活動等支援事業に愛知淑徳大学 CCC が応募している。その企画の 1 つを 2 月にスポーツセンターで開催することも前向きに検討いただいている。懸念されていた交通費や交通手段については、補助金で賄うことができる。 子ども部会として、イベントの周知協力や障害のあるお子さんへの接し方のレクチャー等ができると考えられるが、具体的にどのような		

協力ができるのか、部会内で検討していきたい。そのためにも事前に CCC がどのような内容で申請しているのかを確認し、どのように関わっていくかを部会内で検討できたら。

③ 特別支援教育コーディネーター研修について

・日時

令和 6 年 9 月 3 日(火) 14 時～

・場所

中央福祉センター 多機能室

・内容

1 グループ 5～6 人を 6～7 グループ作って模擬ケース会議を行う。

事前に学校と事業所にアンケートをとって、それぞれの悩みを盛り込んで仮想のケースを作って検討する予定。

アンケートの中で学校全体としてどのくらいケース会議を行ったのか聞いてもいいのではないかな。

→文言等を検討し、修正したものに回答いただく。学校への配布と集計を学校教育課、事業所への配布と集計を事務局で行う。

次の部会までにアンケートを集計して内容を詰めることができたなら良いのではないかな。学校や事業所にどのような困りごとがあるのか、アンケートの集計結果も共有できたらいいのではないかな。

→次回の部会が難しくても、9 月の研修で資料として配布する形にする。

特別支援教育コーディネーターの約 3 分の 1 が新しい方になるため、事業所やセンターの役割等を事前に説明した方がいいのではないかな。その際に不登校の支援で作ったマップや一覧を用いるとより分かりやすいのではないかな。

→どのように説明するか学校教育課と事務局で検討する。

現状としてケース会議はあまり実施できていないのではないかな。学校としてもどのように進めていくものか分かっていない方も多いと思うので、周知の意味合いも込めて実施出来たら。

④ 不登校の支援について

前回からの修正点を確認し、資料を基に内容を検討した。

→細かい言い回し等を修正し、次回検討し最終決定する。

完成後は両面 1 枚の形で、案内文とともに配布する。まずは学校と事業所に配布し意見をもらう。学校には特別支援教育コーディネーター研修の時に、特別支援教育コーディネーターを通じて学校に配布していく（各学校 4 枚ずつ）。事業所にはメールで周知していく。

⑤ その他

6 月 12 日(水)に行われた事業所交流会について報告があった。7 事業所 18 名参加。今回は役職や経験年数ごとに分かれてグループワークを行った。

今回確認事項	①	振り返り
	②	週末の過ごし方について
	③	特別支援教育コーディネーター研修について
	④	不登校の支援について
	⑤	その他

日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第 2 回	子ども部会
日 時	令和 6 年 6 月 19 日（水）10 時 00 分～12 時 00 分	
会 場	障害者福祉センター 大会議室	

専門部会員	その他参加者
① 山田 裕子（欠席）	① 櫻井 かおり
② 山本 哲也	
③ 岡田 美穂	
④ 澤田 勢津子	
⑤ 大石 葉子	
⑥ 阿尾 匡晃	
⑦ 丸山 美希	
⑧ 内田 紀子	
⑨ 藤森 祐紀	
⑩ 近藤 文子	

（市職員）

① 新井 麻佐代	② 青山 亜沙美
----------	----------

（事務局）

① 武田 裕子	② 宇佐美 香津美
③ 日岡 由季枝	④ 白井 暢子
⑤ 西澤 伸太郎	⑥ 下島 七海

日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報 告 者	下島 七海	市確認欄	
専門部会名	第 3 回	子ども部会	
日 時	令和 6 年 7 月 17 日（水）10 時 00 分～12 時 00 分		
会 場	障害者福祉センター 大会議室		
出 席 者	部会員 9 名	市職員 1 名	事務局 5 名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍 聴 者	有り（ 名：別添名簿のとおり） ・ なし		
報告・検討 の内容	① 振り返り		
	② 週末の過ごし方について		
	③ 特別支援教育コーディネーター研修について		
	④ 不登校の支援について		
	⑤ その他		
主な意見	① 振り返り ・週末の過ごし方について ・特別支援教育コーディネーター研修について ・不登校の支援について ② 週末の過ごし方について 愛知淑徳大学 CCC の秋田さんと学生 2 名(遠山さん、加藤さん)に参加いただき、CCC の活動内容等について説明していただく。 ①9 月 22 日(日)か 9 月 27 日(日)、②11 月のどこかの(日)、③2 月 8 日(土)でイベントを開催予定。①と②の対象はおそらく小学生で 10～15 名の予定。詳細が決まったら連絡いただく。②の開催日程については事業所の行事や学校行事と重ならないようにしたいとのことで、日程を確認しメールお伝えする。 ③は学生を 30 名ほど確保でき、子ども部会員もお手伝いができたらと思う。対象も 3 歳～小学生等、広げてもいいのではないかな。対象については詳しい内容が確定したら決める形になる。		

	子ども部会としては、①と②の周知の協力、③は共催で行い当日の運営、お子さんに対する特性の理解と関わり方のレクチャーをしていく。どのようにレクチャーするのか、日程等についてはじゃんぐるじむ岡田さんと直接やり取りしていただく。 学生の交通手段について、会場までの送迎は地域貢献の一環として中日青葉学園のバスをお借りすることを検討。 ③ 特別支援教育コーディネーター研修について 当日の流れとして、最初に教育と福祉の連携の流れについて事務局の西澤さんより説明を行い、SSW 櫻井さんより模擬ケースのやり方やケースの説明を行う。模擬ケースを行っている時間はSSW 数名を配置しグループを回り適宜助言できるようにする。 各グループに特別支援教育コーディネーターを2～3名配置し、事業所や相談員を数名ずつ配置予定。参加者の集約については事務局が行う。 事後アンケートを事務局で作成予定。例年通りその場で記入いただき集計する。 当日の設営や準備については学校教育課と事務局で検討し、部会員にも協力を依頼する。 ④ 不登校の支援について マップや依頼文について確認し検討。 →次回タイトルや説明文を加えたものを作成し確認。最終決定とする。 案の段階だが、9月の校長会で周知を行う。また、特別支援教育コーディネーター研修でも資料として配布予定。正式に配布するのは10月の部会の後に行う。 ⑤ その他 学校教育課 SSW 櫻井さんより図書館のティーンズルームについて報告と周知がある。小～中学生で不登校のお子さんや居場所がないお子さんの過ごせる場所として行っている。必要性がありそうなお子さんがいれば櫻井さんに相談する。 9月7日(土)に行われるチャレンジド夏祭りについて、チラシの配布と周知を行った。
今回確認事項	① 振り返り
	② 週末の過ごし方について
	③ 特別支援教育コーディネーター研修について
	④ 不登校の支援について
	⑤ その他

日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第 3 回	子ども部会
日 時	令和 6 年 7 月 17 日（水）10 時 00 分～12 時 00 分	
会 場	障害者福祉センター 大会議室	

専門部会員	その他参加者
① 山田 裕子（欠席）	① 櫻井 かおり
② 山本 哲也	② 秋田 有加里
③ 岡田 美穂	③ 遠山 可凜
④ 澤田 勢津子	④ 加藤 琴奈
⑤ 大石 葉子	
⑥ 阿尾 匡晃	
⑦ 丸山 美希	
⑧ 内田 紀子	
⑨ 藤森 祐紀	
⑩ 近藤 文子	

（市職員）

① 新井 麻佐代	② 青山 亜沙美（欠席）
----------	--------------

（事務局）

① 小出 佐和子（代理出席）	② 武田 裕子（欠席）
③ 宇佐美 香津美	④ 日岡 由季枝（欠席）
⑤ 白井 暢子	⑥ 西澤 伸太郎
⑦ 下島 七海	

日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報 告 者	下島 七海	市確認欄	
専門部会名	第 4 回	子ども部会	
日 時	令和 6 年 10 月 16 日（水）10 時 00 分～12 時 00 分		
会 場	障害者福祉センター 大会議室		
出 席 者	部会員 7 名	市職員 1 名	事務局 6 名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍 聴 者	有り（ 名：別添名簿のとおり） ・ なし		
報告・検討 の内容	① 振り返り		
	② 各部会の報告について		
	③ 週末の過ごし方について		
	④ 特別支援教育コーディネーター研修について		
	⑤ 不登校の支援について		
	⑥ その他		
主な意見	① 振り返り ・週末の過ごし方について ・特別支援教育コーディネーター研修について ・不登校の支援について ② 各部会の報告について 事務局より各部会の報告が行われた。 ③ 週末の過ごし方について 愛知淑徳大学 CCC の 9 月 29 日(日)に行われたイベントの報告があつた。事業所にも周知の協力を行い、当日は子ども 12 名、大人 7 名、ボランティア 8 名の参加があつた。12 月 1 日(日)のイベントでも、事業所に周知の協力を依頼する。事業所での周知の方法について、事業所の玄関に掲示、LINE などでも共有することが多いが、保護者に案内		

を手渡して説明できると参加者も集まりやすいのではないかと意見が出た。

2月8日(土)のイベントについて、CCC 秋田さんより内容はボッチャやシャラシャラゲームなどを検討中で、12月中旬までに内容を確定する予定。対象は小～中学生（保護者がいれば小学生以下の参加の可能）で定員は30名。ボランティアは3団体に声をかけており、現時点では23名の参加予定。

レクチャーについては10月18日(金)にじゃんぐるじむが愛知淑徳大学に伺う予定。発達障害の説明や簡単な体験を行い、支援のポイントをお伝えする。

保険については、県社協のボランティア活動保険に学生が加入、行事保険にも加入予定とのこと。バスの車両保険についても確認し、適用できない場合として市のバスの利用を検討、市のバスも利用ができない場合は学生には自力で会場に来てもらう形になる。保険のことを再確認し、交通手段については次回決定する。

当日の部会員からの協力も現時点では3名の参加可能。次回までに予定を確認し何名参加できるか再確認する。

④ 特別支援教育コーディネーター研修について

実施報告書をもとに振り返りを行った。部会員からも意見をいただいた。連携と言う形で話をすることができ、今後ケース会議がしやすくなると良い。事業所からは学校の先生と顔を合わせる良い機会になった、事業所内で行っている会議と異なりやり方としても勉強になった、今後も学校と関わる機会が作れたら良い。現時点で連携があまりできていないことにも気づくきっかけになった。学校の三者面談に事業所が参加したり、支援者会議が行われたり、学校が事業所に見学に来られたりするケースが少しずつ増えている。

学校教育課より今後も子ども部会との共催で続けていきたいとの発言があり、来年度の開催について検討を行った。日程については、学校と事業所の予定を踏まえ、9月3日(水)、5日(金)のいずれかの予定。内容については、来年度の特別支援教育コーディネーターの入れ替えを含めて、来年度以降に検討していく。

⑤ 不登校の支援について

依頼文や題名について協議した。事務局で内容を修正し、部会員にはメールで内容を確認していただき最終決定とする。その後、11月頭に周知予定とする。

周知先は市内小中学校、市内事業所、市外事業所の予定。市外の事業所についてはセンター利用者で該当する事業所を抽出する。学校には学校教育課を通して、市内事業所はメールで周知予定。

⑥ その他

今後の議題として何を取り上げていくかについての話があった。部会員からは高校進学を選択や就労についての情報が少なく、保護者や支援者が困っているのではないかと意見が出たため、まずはそれぞれ

	の立場で課題と感じていることを話し合うこととした。 子育て支援課の武田さんより医療的ケア児支援に関する打ち合わせの報告があった。学校等訪問支援事業や保育園の医療的ケア児の受け入れの状況などについて話があった。フローチャートについての周知も行われた。 10月9日(水)に行われた事業所交流会について報告があった。3グループに分け各事業所の困りごとを出し合った。それをもとにグループごとに対応に困っていることを話し合い、寸劇を作り発表し共有を行った。次回は2月に開催予定、内容についても今後検討。 あいあい家の山田さんよりお子さんが週末に過ごせる場として、毎月行われているイベントの周知があった。	
今回確認事項	①	振り返り
	②	各部会の報告について
	③	週末の過ごし方について
	④	特別支援教育コーディネーター研修について
	⑤	不登校の支援について
	⑥	その他

日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第 4 回	子ども部会
日 時	令和 6 年 10 月 16 日（水）10 時 00 分～12 時 00 分	
会 場	障害者福祉センター 大会議室	

専門部会員	その他参加者
① 山田 裕子	
② 山本 哲也	
③ 岡田 美穂	
④ 澤田 勢津子（欠席）	
⑤ 大石 葉子（欠席）	
⑥ 阿尾 匡晃（欠席）	
⑦ 丸山 美希	
⑧ 内田 紀子	
⑨ 藤森 祐紀	
⑩ 近藤 文子	

（市職員）

① 新井 麻佐代（欠席）	② 青山 亜沙美
--------------	----------

（事務局）

① 武田 裕子	② 宇佐美 香津美
③ 日岡 由季枝	④ 白井 暢子
⑤ 西澤 伸太郎	⑥ 下島 七海

日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報 告 者	下島 七海	市確認欄	
専門部会名	第 5 回	子ども部会	
日 時	令和 6 年 12 月 18 日（水）10 時 00 分～12 時 00 分		
会 場	障害者福祉センター 大会議室		
出 席 者	部会員 8 名	市職員 1 名	事務局 6 名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍 聴 者	有り（ 名：別添名簿のとおり） ・ なし		
報告・検討 の内容	① 振り返り		
	② 各部会の報告について		
	③ 不登校の支援について		
	④ 週末の過ごし方について		
	⑤ 障害児の進路選択について		
	⑥ その他		
主な意見	① 振り返り ・週末の過ごし方について ・特別支援教育コーディネーター研修について ・不登校の支援について ・その他 今後の議題について ② 各部会の報告について 事務局より資料②のとおり、各部会の報告が行われた。 ③ 不登校の支援について 11 月に事務局と学校教育課より各学校と事業所に周知を行った。校長会でも周知を行い、今後使用方法について検討してほしいと意見が出た。学校教育課からは研修会で活用することができるのではないか、どのように使うことができるか検討していきたい。各事業所でもミー		

ディングなどで周知し、不登校が起きた時に孤立してしまわないように活用していきたい。今後も部会の中で定期的に活用方法や内容について検討していく。

④ 週末の過ごし方について

9月7日(土)に行われた「チャレンジド夏祭り」について、多くの来場者がいたこと、車いすのお子さんが動きにくい環境になってしまった等の今年度の反省を含め、障害のあるお子さんが楽しめる夏祭りにするために原点回帰し、子ども部会で今後の在り方について検討を行った。週末の過ごし方というニーズに対しては年に1回よりも規模が小さくなくても毎月開催する方が合うのではないかと。市民会館ではなく障害者福祉センターを利用し、駐車場については北部保育園や竹の山小学校の駐車場を借りることができるのではないかと。

事業所や大学が主催する障害のあるお子さんの参加できる活動やイベントについて、カレンダーにする等まとめて分かるようにできるといいのではないかと意見が出た。事務局が各事業所に対し情報収集を行い一覧を作成する。それを踏まえ「チャレンジド夏祭り」の日程や内容等を検討する。

愛知淑徳大学 CCC が 12 月 1 日(日)に行ったイベントでは子ども 9 名、保護者やきょうだい 11 名の参加があった。

2 月 8 日(土)については、保護者がいれば未就学児も参加可能であったが、小学生についても送迎などを保護者が行うのであればどの年齢であっても親子参加でいいのではないかと意見が出た。

周知方法について未就学児も対象になるため、市内の児童発達支援の事業所にもメールで周知を行う。また、相談員からも気になる方には声掛けを行う。

中日青葉学園のバスの使用については、自動車保険を確認していただき、利用可能とのこと。29 名乗りで事前に何名乗るのか集合場所や時間について CCC の秋田さんと相談する。また、当日の手伝いの内容についても相談する。

⑤ 障害児の進路選択について

進路選択に対してそれぞれの立場で持っている情報や知りたいことについて出し合った。事業所では保護者に正しい情報を伝えたいが、知らないことも多い。正しい情報をまとめた進路マップを作り、その中で保護者との進路相談で起こりがちな Q&A のまとめも入れるといいのではないかと意見が出た。保護者向けなのか支援者向けなのか、対象の年齢についても今後検討していく。

⑥ その他

事務局より 12 月 21 日(土)に行われる権利擁護部会と 4 法人共催の虐待防止研修会の案内があった。

学校教育課より、市内の特別支援学級の児童生徒の作品を展示した「伸びゆく子作品展」を 1 月 23 日(木)から 2 月 3 日(月)まで市民会館で開催すると案内があった。

今回確認事項	①	振り返り
	②	各部会の報告について
	③	不登校の支援について
	④	週末の過ごし方について
	⑤	障害児の進路選択について
	⑥	その他

日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第 5 回	子ども部会
日 時	令和 6 年 12 月 18 日（水）10 時 00 分～12 時 00 分	
会 場	障害者福祉センター 大会議室	

専門部会員	その他参加者
① 山田 裕子（欠席）	
② 山本 哲也	
③ 岡田 美穂	
④ 澤田 勢津子	
⑤ 大石 葉子（欠席）	
⑥ 阿尾 匡晃	
⑦ 丸山 美希	
⑧ 内田 紀子	
⑨ 藤森 祐紀	
⑩ 近藤 文子	

（市職員）

① 新井 麻佐代	② 青山 亜沙美（欠席）
----------	--------------

（事務局）

① 小出 佐和子（代理出席）	② 武田 裕子（欠席）
③ 宇佐美 香津美	④ 日岡 由季枝
⑤ 白井 暢子	⑥ 西澤 伸太郎
⑦ 下島 七海	

日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報 告 者	下島 七海	市確認欄	
専門部会名	第 6 回	子ども部会	
日 時	令和 7 年 2 月 19 日（水）10 時 00 分～12 時 00 分		
会 場	障害者福祉センター 大会議室		
出 席 者	部会員 8 名	市職員 2 名	事務局 6 名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍 聴 者	有り（ 名：別添名簿のとおり） ・ なし		
報告・検討 の内容	① 振り返り		
	② 各部会の報告について		
	③ 週末の過ごし方について		
	④ 障害児の進路選択について		
	⑤ その他		
主な意見	① 振り返り ・ 不登校の支援について ・ 週末の過ごし方について ・ 障害児の進路選択について ・ その他		
	② 各部会の報告について 事務局より資料②のとおり、各部会の報告が行われた。		
	③ 週末の過ごし方について 2 月 8 日(土)に行われたイベントについて、当日の手伝いとして部会員から 4 名が参加した。当日の参加者は約 30 名、そのうち事業所としての参加が 15 名であった。未就学児の参加は 2 名で、ほとんどが就学児であった。ブースだけでなくイベントの後半では会場の広さを活かしてドッジボールやシャトルランが行われ盛り上がっていた。広い場所で身体を動かす機会が少ないため、そのようなニーズは満たせたの		

ではないか。学生ボランティアの役割が曖昧になる場面があり、1人になってしまうお子さんも見られた。

今回のイベントでは周知が遅くなり、開催の寸前まで参加者が集まらず、すすく園の在園児や卒園児、伸びゆく子作品展での案内の設置を行った。また、申し込み方法が大学への電話やメールなど、保護者にとってのハードルが高かったのではないかと意見が出た。

今後の方向性や反省点については、CCCの秋田さんに伝える予定である。

事業所アンケートについて、4,8,1～3月はイベントが少ない傾向にあることが分かった。来年度のチャレンジド夏祭りの開催については市と協議しアンケート結果をもとに考えていく。事業所が開催するイベントについてもアンケート結果を参考にするなど活用してもらえたらよい。今回作った表を強化して、リンク先に飛べるようにできると良いのではないかと。社協のホームページに自立支援協議会のページがあるため、そのページに追加することはできる。事業所から情報提供してもらえるイベントがあれば追加できるようにし、学生ボランティア等のイベントについても分かり次第掲載する。完成後は、事業所の方にメールで周知、学校のコドモンで支援級のお子さんに絞って周知が行えることを確認。次年度、9月6日(土)に市民会館を予約していたが、空調工事と重なり、例年通りの夏祭りが実施できないことについて報告を受ける。

④ 障害児の進路選択について

保護者のフォローを行う支援者向けに Q&A を作成できたらいいのではないかと。事業所、学校、相談員に最初は年齢を限定せずに進路について聞かれて困ることや気になることをアンケート等で収集する。学校は学校教育課から各学校に、事業所は2月26日(水)に行われる事業所交流会で時間を取って聞く、相談員、保健センター、保育園についてもそれぞれ集める形になる。それぞれ聞き取ったものを事務局に送っていただき、次回の子ども部会でたたき台として検討する。

⑤ その他

2月18日(火)に開催された医療的ケア児支援に関する打ち合わせ会についての報告が行われた。現在把握している15名について内容や進路について確認を行った。

来年度の就学説明動画について、給付が介護福祉課に移行する関係で発行についても同様に変更になる。内容については現在検討中で、年長児の数についても集計中。

事務局より家族支援について各事業所に現状を確認した。送迎時に保護者に様子を伝え話すことや、年に数回面談を行っている事業所が多く、家庭によっては1～2カ月に一度面談する場合もあるとのことであった。

今回確認事項	①	振り返り
	②	各部会の報告について
	③	週末の過ごし方について
	④	障害児の進路選択について
	⑤	その他

日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第 6 回	子ども部会
日 時	令和 6 年 2 月 19 日（水）10 時 00 分～12 時 00 分	
会 場	障害者福祉センター 大会議室	

専門部会員	その他参加者
① 山田 裕子	
② 山本 哲也	
③ 岡田 美穂	
④ 澤田 勢津子	
⑤ 大石 葉子（欠席）	
⑥ 阿尾 匡晃	
⑦ 丸山 美希（欠席）	
⑧ 内田 紀子	
⑨ 藤森 祐紀	
⑩ 近藤 文子	

（市職員）

① 新井 麻佐代	② 青山 亜沙美
----------	----------

（事務局）

① 武田 裕子	② 宇佐美 香津美
③ 日岡 由季枝	④ 白井 暢子
⑤ 西澤 伸太郎	⑥ 下島 七海